

EDITOR'S REPORT

2021-03 エディターズレポート
March

編集部員が街に溢れる情報の中から読者の皆さまに役立つものを厳選して紹介します。新しくオープンしたレストランやショップ、アイデアが光る新商品など、日々の暮らしをより楽しく、豊かにしてくれる情報をお届けします。

●ご紹介した情報は諸事情により変更されることもあります。
撮影=福森クニヒロ 本誌=西山航、伏見早織、武蔵俊介 取材協力=秋元弘子 西村晶子

MONTHLY CHOICE

マンスリーチョイス・今月はこれに注目!



■ 日本が誇る“手技の美”に触れられる 上質な絨毯の宝庫

皇居新宮殿などの名だたる建築物で使われ、建築家の隈研吾氏や日本画家の千住博氏との共作で注目を集める羊毛絨毯ブランド「山形織通」。この度、待望のショールームが誕生しました。まるで美術館のような佇まいの店内では、当ブランドの製品がすべて揃い、じっくりと見て触れることができます。実際に赴いて驚くのは、上質な絨毯だけが持つ立体感。さらに独自の仕上げ技法により、新品の絨毯であるにもかかわらず長い歳月を経たような豊かなつやとしなやかな手触りを実現しています。店内ではオーダーメイドやメンテナンスなどの相談にも応じてくれます。上質な空間を彩る“足もとの美”に出会える注目スポットです。

●山形織通 東京ショールーム 東京都千代田区東神田1-2-11 アガタ竹澤ビル ☎03(5829)3887 ㊟10時~17時(土曜~15時) 日曜・祝日定休 要予約



1 立体感のある桜が一面に広がる、手織り絨毯の「桜花園」(縦140×横200センチ、250万円)。原料となる羊毛の染色から仕上げまでをすべて工房で行う。2 新作「MANYO」は、万葉集に詠まれた伝統色に着想を得た、空間になじむ12色展開。初となる無地のラインナップで、サイズや形を自由に指定できる(1平方メートルあたり9万6500円、納期は約40日前後)。3 糸の色や種類、毛足の長さ、織りの密度などのサンプルを見ながらオーダーメイドも可能。4 壁に展示されている絨毯は、見る角度や距離によって印象が変わる。床に敷くのはもちろん、アートとして壁に飾っても圧倒的な存在感を放つ。